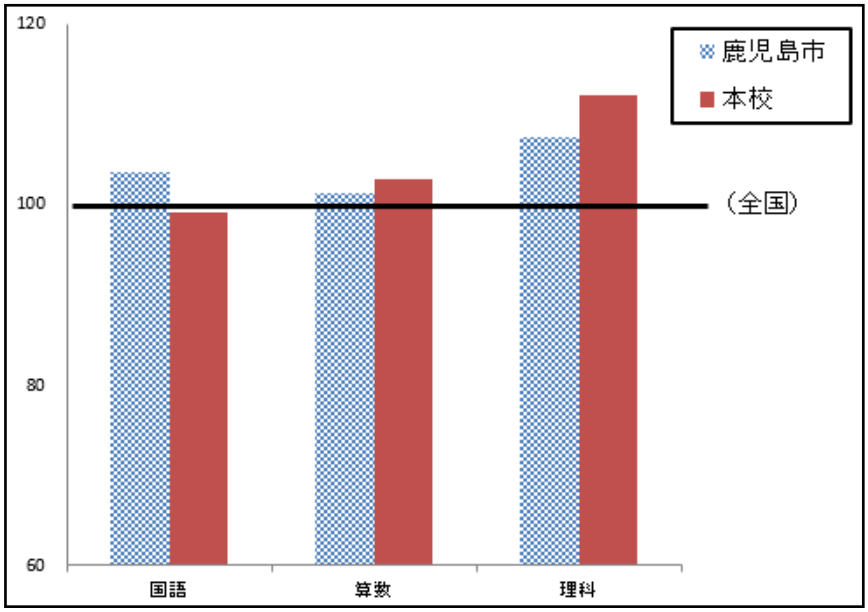
令和４年度全国学力・学習状況調査の結果について

鹿児島市立田上小学校

１　学力調査の結果について



左の棒グラフは，全国の平均正答率を 100 として，鹿児島市と本校の結果を表しています。

国語科はやや平均を下回っていますが，算数科・理科においては，全国平均を上回る結果となりました。

	課題に対する改善策
国語科	漢字の書き取りや文字の配列に気を付けて書くことに課題が見られました。漢字の書き取りに関しては，新出漢字についてデジタル教科書を活用しながら注意点を押さえたり，朝の活動での漢字練習や漢字小テスト等で添削をしたりするなどして，漢字の読み書きが確実にできるようにします。また，文字の配列については，書写の時間の導入で，目標を捉えられるようにし，板書やデジタル教科書等で視覚的に丁寧に指導していきます。
算数科	「変化と関係」領域に課題が見られました。割合の指導に当たっては，全職員で各学年で関係する指導内容を確認し，考えを子供が自分なりに言葉や図，数，式，表，グラフに表したり，表されたそれらの表現の意味を解釈して伝え合ったりする活動を位置付けるということを全学年で取り組んでいくように努めます。記述式の問題に課題があることから，授業の中で自分の考えを文章で書く取組も行っていきます。
理科	問題に対するまとめからその根拠を実験の結果を基にして書くことや，実験結果から問題に対するまとめを検討し，改善することができるかを尋ねる問題に課題が残りました。授業の中で子供に思考させる際に，「比較」「関係付け」「条件制御」「多面的に調べる」という，理科の「考え方」を意識した発問を行うことで，問題解決の力を育むことができるということを全職員で再確認しました。他教科等とのつながりも意識して，更に指導の工夫に取り組んでいきます。

２　全体をとおして

児童質問紙の結果から
３教科の結果から，知識・技能の定着が十分ではない部分があることが分かりました。授業と連動して朝の活動や家庭学習なども含めて，子供たちに学力を身に付けることができるよう今後も努めます。また，児童質問紙において，「将来の夢や目標をもっていますか。」という質問に，84％の子供たちが「もっている。」と解答しています。全国平均と比べても高い結果です。本校は「自ら学び　未来を創る」をテーマに研究に取り組んでいます。課題となる部分については丁寧に指導し，向き合い，よい面については更に伸ばしていけるよう，教児一体で取り組んでいきます。